

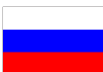
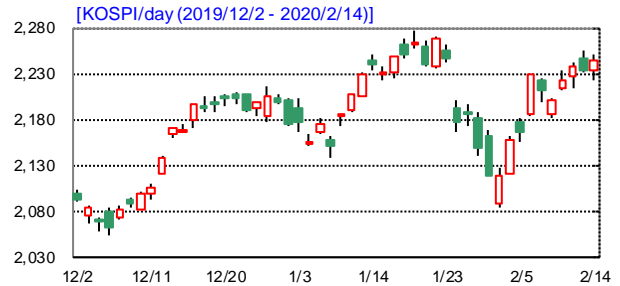


【韓国】 総合指数は週間で 1.4%高と続伸、今週は 2200 ポイント付近で根固めか

先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で 1.4%高と続伸。週を通じ、新型コロナウイルスの感染拡大への警戒感がくすぶった半面、楽観的見方からの買いが相場を支えた。週明け 10 日は続落したが、11 日は終日にわたり節目の 2200 ポイントを超える水準を維持し、前日比 1.0%高で引けた。12-14 日は一進一退だったが、この水準を割り込むことなく推移。14 日は終値で 1 月 23 日以来約 3 週間ぶりの高値を更新した。「投資家は経済統計とウイルスの影響に注目している」(大信証券)との声が出た。個別ではバルンソン・エンターテインメント・アンド・アーツが急伸。9 日(米国時間)の米アカデミー賞授賞式で同社が制作した映画「パラサイト 半地下の家族」が作品賞など 4 部門を受賞し、買いを集めた。今週は 2200 ポイント付近で値固めの展開か。

▼指数チャート

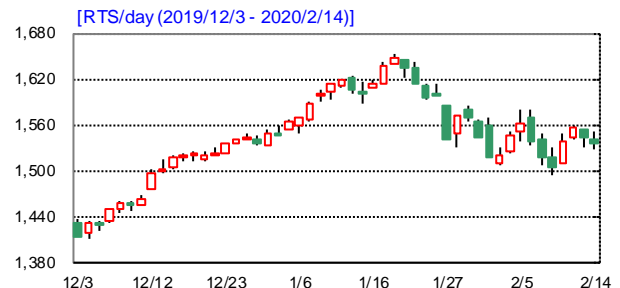


【ロシア】 RTS 指数は 1.1%高と続伸、今週も原油・為替相場をにらんだ値動きか

先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は週間で 1.1%高と続伸。新型コロナウイルスの感染拡大ペースの鈍化や原油相場の反発などを追い風に週半ばまで堅調に推移した。中国で新型コロナウイルスの感染者数の伸びが鈍化したことで収束への期待が高まり、RTS 指数は 11-12 日に大幅に続伸。ウイルスの感染拡大で下落した原油相場が大きく反発する中、ルーブルにも買い戻しが入り、株価を押し上げた。ただ、週後半は中国で感染者数が再び増加した影響でルーブルの下落とともに株価も勢いを失った。指数は 12 日に前週末比 2.6%高まで上昇したが、週後半に失速した。個別ではエネルギーのスルグトネフテガスが 4.8%、タトネフチが 2.7%上昇し、指数を押し上げた。今週も新型コロナウイルス感染の収束見通しや原油・ルーブルをにらんだ展開か。

▼指数チャート



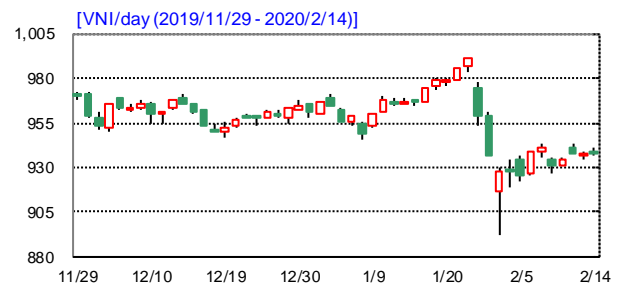
【ベトナム】 ベトナム指数は 0.4%安と反落、今週は新型肺炎次第の神経質な展開

か

先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で 0.4%安と反落。新型コロナウイルスの感染拡大による景気悪化懸念で週明けに下落し、その後は感染拡大の収束期待から下げ幅を縮めた。前週末に世界の新型コロナウイルスによる死者数が 2003 年に流行した SARS の死者数を上回ったことで週明けの VN 指数は前営業日比 1.1%安と軟調な展開。その後はウイルス感染の収束に対する期待の高まりを背景に 13 日まで小幅に 3 日続伸したが、反発は限定的だった。個別では資金調達を発表した食品加工のタインティンコン・ビエンホアが 17.8%高と急伸した一方、不動産のビングループ、金融のベトナム投資開発銀行、食品のビナムミルクなどの時価総額上位の銘柄が軒並み 3%超下落した。今週は新型コロナウイルス感染の収束時期をにらんだ神経質な展開か。

▼指数チャート

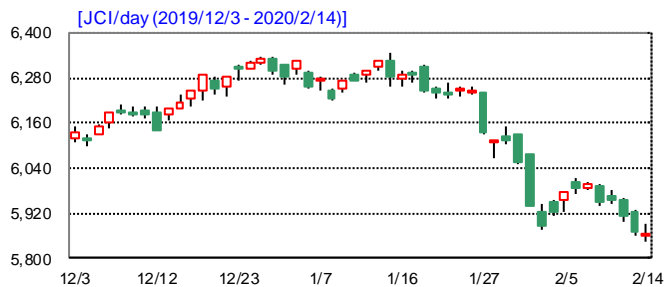


【インドネシア】

【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 2.2%安、今週は中央銀行が金融政策決定会合を開催

ジャカルタ総合指数は週間で 2.2%安と反落。買い材料に乏しく、じりじりと下値を広げた。週初の 10 日は、中国で新型コロナウイルスの感染による肺炎での死者数が増え続けている影響で売られ、5 営業ぶりに反落。11 日は小幅に反発したが、その後は売り優勢の展開が続き、13 日に終値で 5900 ポイントを割り込むと、14 日は 9 カ月ぶりの安値を更新して引けた。今週は 17 日発表の 1 月の貿易統計が焦点になるほか、20 日には中央銀行が定例の金融政策決定会合を開催する予定。新型肺炎の感染拡大による世界経済の減速懸念が高まる中、前回まで 3 会合連続で据え置かれた政策金利の動向が意識されそうだ。

▼指数チャート

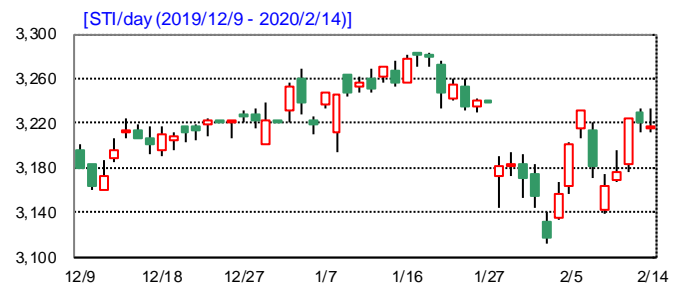


【シンガポール】

【先週の動き／今週の展望】ストレーツタイムズ指数は 1.2%高、金融緩和期待で上昇

ストレーツタイムズ指数は週間で 1.2%高と続伸。週半ばの上昇が奏功した。週初の 10 日は、前週末に保健省が新型コロナウイルスに対する警戒レベルを引き上げた影響で金融株が売られて指数は続落。ただ、11 日に観光局が今年の外国人旅行者数について、前年比 25-30%減少するとの見通しを明らかにすると、金融緩和への期待感から買い戻されて反発した。12 日は 19 年 12 月の小売売上高が前年同月比 1.0%減と市場予想から下振れしたものの影響は軽微で、終値で前日比 1.5%高と続伸したが、週後半は小幅なレンジで続落している。今週は 17 日発表の 1 月の非石油地場輸出に対する市場の反応が焦点。

▼指数チャート

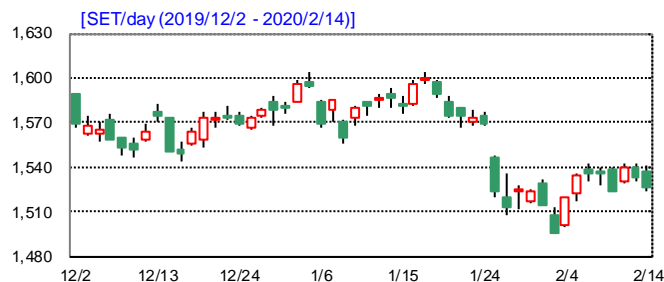


【タイ】

【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 0.6%安、今週は 19 年 10-12 月の GDP が焦点

SET 指数は 4 日間の取引で 0.6%安と反落。週後半の下落が響いた。連休明けの 11 日は、輸出量が世界第 2 位となっている砂糖の 19-20 年の生産が干ばつの影響で減少するとの見通しが嫌気されて、指数は続落。12 日は新型コロナウイルスの感染による肺炎が 4 月にも収束する可能性があるとの報じられた効果で金融株が買われ、前日比 1.0%高と 3 営業日ぶりに反発した。ただ、13 日は中央銀行幹部が今年の経済成長率について、肺炎流行の影響で 2%を下回る可能性を示唆したことが嫌気されて反落すると、14 日も続落して引けている。今週は 17 日発表の 19 年 10-12 月期の GDP に対する市場の反応が焦点。

▼指数チャート

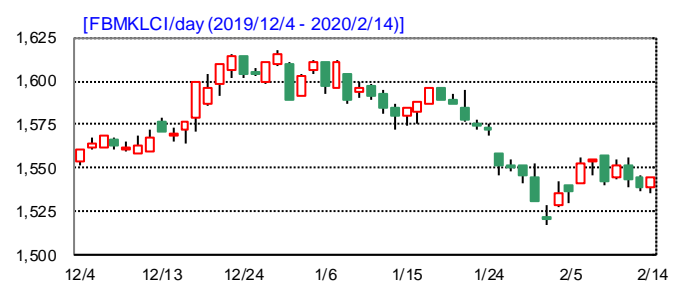


【マレーシア】

【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 0.6%安、19 年 10-12 月の GDP は 10 年ぶりの低成長

クアラルンプール総合指数は週間で 0.6%安と反落。週末の反発が下落幅を縮めた。週初の 10 日は新型コロナウイルスの感染拡大に対する警戒感から売られ、指数は 5 営業日ぶりに反落。11 日は反発したものの、12 日は 19 年 10-12 月の GDP 成長率が前年同期比 3.6%と約 10 年ぶりの低い伸びとなった影響で下落した。13 日は新型肺炎による中国湖北省での死者数が大幅に増加したことが嫌気されて続落したが、14 日は今月 27 日に新型ウイルスが経済に及ぼす影響を緩和する目的で景気刺激策を発表するとの政府声明を受けて引け際に買われ、反発している。今週は 21 日に 1 月の CPI が発表される予定。

▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。